

新春のごあいさつ



明けましておめでとう、ございます。皆さまには、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、6月には日本最高峰の自転車ロードレースが黒田原で開催され、晴天にも恵まれ多くの観客が訪れました。

また、第2回「山の日」記念全国大会の会場に本町が選ばれ、8月11日に記念式典や歓迎フェスティバルなどが町内で盛大に催されました。自然豊かな本町の魅力を全国に向けて発信することができたと思います。こうした全国規模のイベントを迎えるにあたっては、地元企業や町民の皆さまのご協力は欠かせないものであり、皆さまのあたたかいご理解に対しまして、改めて感謝申し上げます。

さて、「みどり輝き活気と笑顔あふれるまちふるさと那須」を目指す那須町振興計画の策定から3年目を迎える本年も、高齢化に伴う医療・介護等の社会保障費の増加が見込まれるほか、人口減少問題への取組みとしての定住促進、地方経済の活性化、観光業や農林業の強化、福祉・子育て支援や教育環境の充実など、山積する各課題への対応が求められています。

本計画で重点的な取組みに位置付けている「定住（移住）を促すまちづくり」・「子育てしやすいまちづくり」に関しては、転入者が町内で住宅を購入する際に補助金を交付する制度や、若者向け町営住宅として建設された戸建定住促進住宅に子育て割引制度を設け、若者と子育て層の定住対策に取り組んでいます。

農業の活性化については、昨年4月に農業に関する総合窓口として那須町農業公社を設立しました。さらに、農業後継者に対する支援事業を創設し、農地の集積、農業経営の拡大、担い手の育成と確保等の更なる強化を図ります。

また本年は、栃木デザイン・シヨンキャンペーンが本格展開される年です。国内外から訪れる多くの人々をあたたく迎える「お

もてなし観光」を官民一体となって進め、更なる観光誘客に取り組みんでいきます。

福祉政策においては、介護予防・日常生活支援総合事業の開始や子育て世代包括支援センターの設置など、地域と社会が高齢者の生活や子どもたちの成長を見守っていく仕組みを構築したところで、円滑な運営に向けて関係機関との連携を図っていきます。

今後も将来を見据えながら、これらの施策を着実に推進し、行政と町民が一体となった持続可能なまちづくりに取り組んでまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

ここで、私事ではございますが、9月24日からの3カ月間余り、脳出血によって入院を余儀なくされ町政から離れることとなり、町民の皆さまには多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。不在の間も滞りなく町政が運営できたことは、町民の皆さまはじめ、町議会、関係者の支援によるものであり、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

結びに、この1年が皆さまにとりまして幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。年頭のあいさつとさせていただきます。

那須町長 高久 勝